

定例記者懇談会・記者会見＜当日発表用資料＞

「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する 高度専門人材育成事業」の採択について

～サステナブルな農山漁村地域を実現する地域密着型DX人材育成～



令和4年3月11日

「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する 高度専門人材育成事業」実施機関の決定について

「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」について、事業実施機関を決定しましたので、お知らせいたします。

1. 事業の目的

大学・高等専門学校においてデジタルと専門分野の教育を掛け合わせた実験・実習カリキュラムを実施するにあたり、その取組の基盤となる教育設備等の支援を行うことで、デジタル化が進む産業分野をけん引する高度専門人材を育成することを目的としています。

2. 審査状況

令和3年12月24日～令和4年1月26日の期間に公募を実施し、大学等から99件の申請を受け付けた後、有識者による「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業委員会」での審査を踏まえ、このたび別紙のとおり39件の事業が採択されました。

【申請・採択の状況】

学校種	設置形態	申請件数	採択件数
大学	国立	39	18
	公立	8	2
	私立	33	11
短大	私立	1	1
高専	国立	17	6
	公立	1	1
計		99	39

<担当>

文部科学省 高等教育局専門教育課

課長 補佐 奥井 雅博 (内線 3348)

教育振興係長 廣末 賢太 (内線 2504)

電話：03-5253-4111 (代表)

サステナブルな農山漁村地域を実現する地域密着型DX人材育成

Mission

1. 農業工学・防災工学分野のDX人材育成拠点「FITS.Lab.」を整備する。
2. 産業界と連携した教育体制を構築し、実践を通じてデジタル・マインド&スキルを育成する。
3. 持続的なDX人材育成プログラムを実現するための教育効果の検証と改善するシステムを構築する。

なぜ「農業工学&防災工学」× デジタルか？

- ✓ 国交省の推進する i-Constructionに代表されるように、建築・土木分野ではデジタル技術の導入により、生産性向上と人材不足の解消につながると期待されているが、業界の新規投資が衰退する傾向にあり人材育成が喫緊の課題となっている。
- ✓ 一方、東海地域は潜在的に東南海トラフによる巨大地震リスクを抱え、特に情報過疎地域となりがちな農山漁村地域における建築、交通のDX化を支える防災工学教育を受けた人材供給が求められている。
- ✓ 農業および農山漁村地域の農業工学系を組織的に教育できる高等教育機関は、東海地域では三重大学しか存在しない。
- ✓ 防災に関しても、三重県と本学が連携して「みえ防災塾」を起ち上げ、防災・減災を担う人材育成カリキュラムを開発してきた実績も有する。
- ✓ このような農業および農山漁村地域のDX人材、防災工学に関わるDX人材の育成は、国内全域にわたる課題でもある。

取組の目標と概要

持続可能な農山漁村地域を実現する地域密着型DX人材の育成

- ① 農業工学・防災工学分野のDX人材育成拠点「FITS.Lab.」を整備し、実践的にデジタルマインドとスキルを育成できる環境を構築する。
- ② 産業界と連携した教育体制を整備し、地域の実データや実課題から学ぶデジタルコンテンツ教材の開発と、実問題解決を通じた実践力を育成し、デマンドサイドに立った人材育成に取り組む。

これらを通じ、学生自身がDX人材としてリアルな課題に対し、デジタルスキルを活用してエビデンス（データ）に基づいて問題解決（PBL）に取り組むデジタルマインドとスキルを育成するカリキュラムを構築する。

取組内容 —農山漁村地域の問題解決を担えるDX人材育成を目指して—

デジタルマインド&スキルを育成するための環境整備 DX教育システム「FITS.Lab.」の整備

- 農業工学や防災工学に関わる実践的能力を育成するため、製作（Fabrication）、改良（Improvement）、トレーニング（Training）、計測（Sensing）までを支援する『FITS.Lab.』というデジタル×ファブリケーション×トレーニング設備を整備する。
- ✓ FITS.Lab.の利用にあたっては、利用資格プログラムを構築し、全学・市民に開放して拠点化する。
 - ✓ アントレプレナー教育、リカレント教育、共同研究や高大連携の場といった、人材育成及び連携拠点としても活用する。

カリキュラム開発と教育体制 産業界と連携した教育体制の構築

民間企業や行政機関を対象とした調査を実施し、DX人材育成に向けたカリキュラム改善に着手し、実践的能力の育成を図ってきた。この連携実績をもとに、

- ✓ **教室内容の改善**：FITS.Lab.を活用したデジタルマインドとスキルを育成できるよう改善する。
- ✓ **デジタルコンテンツ教材開発**：地域の実データや実課題を通じて学習できるデジタルコンテンツ教材を連携企業・行政機関と共同で開発する。
- ✓ **実践的能力育成**：農業工学や防災をテーマとしたアイデアコンペを実施し、デジタル技術を活用して問題解決に取り組む実践的能力の育成する。

人材育成拠点としての教育効果の検証・改善 持続的な教育プログラムの改善

人材育成拠点としての教育効果を測定するため、次の5項目について調査し、本事業の達成度を評価・検証する。また、その結果をもとに補助期間終了後も持続的な教育改善に取り組む。

- ✓ DX推進の意義を説明できる学生：95%以上
- ✓ デジタルスキルに関する課題の合格割合：95%以上
- ✓ 測量士補プログラムにおける資格取得割合：90%以上
- ✓ 卒業生に対する就職先企業の満足割合：90%以上
- ✓ 外部有識者による本取組の事業評価を実施し、持続的な教育プログラムの改善に取り組む。

サステナブルな農山漁村地域を実現する地域密着型DX人材育成

豊かな食と一次産業を支えつつ、自然災害リスクの高い全国の農山漁村地域のDXを牽引する
地域密着人材を**東海地域唯一の農業工学系と防災工学系のカリキュラムで三重大学が育成**

三重大大学内のデジタルファブリケーション機器類をデジタルで管理し、

製作から改良, 訓練, 計測までをサポートするFITS Lab. (新設)システムの整備

Fabrication, Improvement, Training, Sensing

